

# 関西聚 活動報告書



(活動名：初夏の自然を五感で感じよう

活動日：2022. 6. 12 (日))

リーダー名：大川 英登	報告者：大川 英登
参加者：(スタッフ4人 参加者2人 合計6人)	
スタッフ：伊東俊廣、山本勲、林俊、大川英登	
参加者：別紙添付	
6月12日(日)の活動内容	
能勢妙見山のブナ林の見学～野間の大ケヤキとアオバズクの見学	

## 活動報告・次回案内・感想など

一日毎に変化する天気予報に一喜一憂していたが当日は絶好の天気恵まれ、実りある一日となりました。大阪市内から一人と神戸市から一人の女性の参加があり賑わいのある自然観察会ハイキングとなりました。妙見口駅から上杉尾根コースをたどり、予定より30分遅れで能勢妙見山に到着。まず事務所で「施設使用許可願い」を提出し、目的の項目に「ブナ林の見学と生態系の勉強について」と記入して提出したところ事務局の「ブナ守の会」所属という箕浦氏より妙見山のブナについて幼苗の育成圃場(3年目のブナ)、移植後10年目のブナの生育状況などを見学させていただいた。またここでは実生苗が出来やすく、その苗を圃場で育成して大きくなってから移植するという話をお聞きしました。最高で樹齢300年はあるという大木もあり驚きました。2018年の台風で数本が倒木したようです。

昼食後リフト、ケーブルを乗り継ぎ黒川駅まで下山。そこから徒歩60分かけて野間の大ケヤキに到着。樹齢1000年以上という大ケヤキを見学。幹回り14mの大木。目的のアオバズクも見学出来、本日のすべての目標を達成することが出来た。

登山中はさわやかな風が吹き抜け、気持ちの良い汗をかき、ホトトギス、ツツドリ、キビタキ、ヒヨドリなどの声を聞き、ホタルブクロ、ヤマボウシ、テイカカズラ、ガマズミ、ウツギ、ササユリなどを観察。妙見山の三角点にはウメガサソウ(イチヤクソウ科・草丈15cm)という大変珍しい花を発見できた。ギンリョウソウと同じ仲間であるが腐生植物のギンリョウソウと違って、緑の葉っぱを持っていた。

野間の大ケヤキの道中にはコマツナギ、アメリカオニアザミ、オオキンケイギク、イタチハギ、クリなどを観察。また現在進行中の台場クヌギの山林、炭焼竈の後などを見学出来た。

ここ黒川地区は現在でもクヌギ林の育林と菊炭の生産が行われており、10年毎の伐採と炭焼きが繰り返されており、立派な台場クヌギが育っている。

黒川駅と野間の大ケヤキの間は往復8kmの強行軍となったが、女性群もよく頑張ってくれました。

19時に梅田到着後5人で懇親会を開催。強行軍の後のビール一杯は身に染みて旨かったの言うまでもない。一時間程の時間であったが大いに盛り上がった。

# 活動写真



妙見口駅より



ホタルブクロ満開



テイカカズラ



急峻を登る



ホオノキ



台場クスギ



台場クスギ



休憩



石塔



倒木



大カラスザンショウ



眺望

# 活動写真



到着



能勢妙見山入口



ブナ 3 年育苗



ブナ 10 年育苗



頂上



ブナ大木



ウメガサソウ



ウメガサソウ



ヒカゲノカズラ



黒川駅



台場クヌギ育成林



台場クヌギ解説板

# 活動写真



炭竈後



.クララ



イケマ



クリ満開



大ケヤキ説明板



アオバズク



野間の大ケヤキ



野間の大ケヤキ

🌸 たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆